

5-(1) 英語英文学科の履修方法について

1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

科 目 区 分			必修	選択必修	左 欄 以 外 からの選択	計
共通 教育 科目	教 養 科 目	人間と文化		2	1～	
		生活と社会		2		
		人間と自然		2		
	基 礎 科 目	外国語科目		4		
		リテラシー・スポーツ科目		1		
	基 盤 科 目	カトリック教育科目	4	2		
		ライフキャリア形成科目		2		
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目		16 [17]	20	10～ [9]～	124
	専 門 基 幹 科 目		10			
	専 門 展 開 科 目 （ グ ロ ー バ ル リ ベ ラ ル ア ー ツ コ ー ス ）		[2]	} [18] } 20		
	専 門 展 開 科 目					
	専 門 関 連 科 目	英語教育領域				
		エアラインプログラム科目				
		医療サポート英語プログラム科目				
		プレゼンテーション実務士科目				
	専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究		12			
学 際 教 育 科 目					0～16	
合 計			42 [45]	55 [53]	27 [26]	124

[] 内の数字はグローバルリベラルアーツコース履修生の履修単位数を示す。

2. 履修コースの分属について

英語英文学科では、入学時に各履修コースに分属し、各履修コースで定められた必修科目を履修しなければならない。

1. 各履修コース内容

履修コース	コースの目的
英語英文学コース	基礎的な英語力を身につけ、専門教養と柔軟で心豊かな人間性を兼ね備えた国際人の育成を目的とする。
グローバルリベラルアーツコース	自信に裏付けされた流暢な英語運用能力を涵養し、国際社会に貢献しうる教養と思考力を兼ね備えた人物の育成を目的とする。

2. グローバルリベラルアーツコースにおける海外留学について

グローバルリベラルアーツコースは、コースの定める時期（2年次後期）に海外留学を行うこと（海外留学Iaの履修）を履修上の必須とする。ただし、海外留学を行うためには、1年次終了時において、以下に示す「海外留学条件」を満たしていなければならない。

海外留学条件

以下●の条件を両方満たすこと。

- 京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学実施制度要項に定めるセメスター認定留学の申請条件を満たしていること（グローバルリベラルアーツコース留学奨学金には別途申請基準が定められているため、規程（P.249）を確認のこと）。
- 1年次に履修すべき英語英文学科必修科目を全て修得済みであること。

なお、1年次終了時に海外留学条件を満たさない場合、2年次後期からの海外留学はできない。この場合の選択肢は以下の二つとなる。

- i. グローバルリベラルアーツコースに在籍し、海外留学条件を満たした後に海外留学を行う。その場合、原則として、
(a) 海外留学の時期は後期とする。(b) グローバルリベラルアーツコースの履修規定上、4年間で規定の卒業要件を満たすことができない(卒業が1年単位で延期となる)。
- ii. 英語英文学コースへの転コースを申請し、英語英文学コースで履修を継続する(条件を満たせば、セメスター留学を行うことができる)。

3. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、() 内の数字は単位数を示す。

1. 共通教育科目 (20単位以上)

(1) 1年次に履修する必修科目・選択必修科目と履修単位数について

以下の基盤科目4単位及び基礎科目1単位は、1年次に全員が必ず履修しなければならない。

必修科目

基盤科目：キリスト教学 (2)、キリスト教音楽概論 (2)

選択必修科目

基礎科目：情報演習 I aまたは情報演習 I b (1)

(2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「生活と社会」及び「人間と自然」の3領域から各2単位以上、基礎科目の「外国語科目」の選択科目から4単位以上、基盤科目の「カトリック教育科目」及び「ライフキャリア形成科目」の選択科目から各2単位以上、全体から1単位以上(選択科目に算入される)を必ず履修しなければならない。

2. 専門教育科目 (88単位以上) () 内の数字はグローバルリベラルアーツコース履修者の単位数を示す。

(1) 必修科目と履修単位数について

専門基礎科目の必修科目16単位、専門基幹科目の必修科目10単位及び専門演習・卒業研究12単位の合計38単位は全員が必ず履修しなければならない。加えて、グローバルリベラルアーツコース履修者は、専門基礎科目1単位、専門展開科目2単位の合計3単位を必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 Practical English I (2)、Practical English II (2)、Academic English I (2)、Academic English II (2)、英語英文学基礎演習 I (2)、英語英文学基礎演習 II (2)、英米文学概論 (2)、言語学概論 (2)、コミュニケーション学概論 (2)

◇ 2年次に履修する科目 Academic English III (2)、Academic English IV (2)、海外留学 I a (1)

◇ 3年次に履修する科目 Academic English V (2)、Academic English VI (2)、英語英文学演習 I (2)、英語英文学演習 II (2)

◇ 4年次に履修する科目 卒業研究 (8)、Global Liberal Arts Seminar (2)

(2) 選択必修科目と履修単位数について

専門基礎科目から選択必修科目計20単位以上、専門展開科目から英語英文学コース履修者は、選択必修科目計20単位以上、グローバルリベラルアーツコース履修者は、専門展開科目(グローバルリベラルアーツコース科目)から18単位以上を履修しなければならない。

(3) 選択科目と履修単位数について

上記(1)、(2)を除く専門科目から計10単位(グローバルリベラルアーツコースは計9単位)以上を選択し、必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

海外文化研修および他学部等・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部等・学科が認めた専門教育科目(履修科目表の科目名に☆印を付した科目)を選択し履修できる。履修した科目の単位は16単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. ゼミへの所属について

「英語英文学演習 I・II」(3年次)及び「卒業研究」(4年次)は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取り組み、最終的に4年次で卒業研究(卒業論文)の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

所属ゼミ決定のプロセス

日程は事前に周知するのでUNIPAやmanabaからの連絡に注意しておくこと。

① 1 年次 3 月末～2 年次 4 月初旬 新 2 年次生オリエンテーション。

※「2 年次オリエンテーション」では履修モデルを配布するほか、ゼミ分属のために必要なゼミに関する注意事項と履修モデル配布し、前提条件などを説明する。

② 2 年次 7 月 ゼミ分属説明会。

※「ゼミ分属説明会」では、ゼミの詳細な内容や所属までのスケジュール及び、ゼミ分属の条件など重要な説明をするので必ず出席すること（欠席するとゼミ選択において不利になることがある）。

③ 2 年次 7 月末～8 月初 希望ゼミを選択し、書面で学事課に提出。

※各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。

④ 2 年次 9 月 所属ゼミの決定

※所属ゼミにより、「研究方法論」または「専門講読」の履修が求められる（2 年次後期）。これらの科目はゼミの所属が決定後、履修登録すること（予め科目を履修計画していた場合は、後期修正期間に変更すること）。

5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細はUNIPAやmanabaからの連絡、または手引き等で確認すること。

※3 年次後期以降に留学を希望する学生に関しては、必ず事前にゼミ担当教員と相談すること。そのうえで、留学中も連絡し指導を受けること。

※掲示内容や説明会資料等を学事課からメールで送るので、留学先で連絡のつくメールアドレスを学事課に必ず連絡すること。

（学事課 E-mail : gakuji@ml.notredame.ac.jp）

6. Testingプログラム

(1) TOEIC IP

正規のTOEICテストと全く同じ方法で、団体として任意に利用できるテストである。本学では国際教育課主催のTOEIC IPを受験し、客観的に自分の英語の実力を知る機会を設けている。各学生は定められた日程でそれを受験すること。

(2) 学科指定TOEIC：1～3 年次生は全員、4 年次生はグローバルリベラルアーツコース生のみ。

毎年12月に実施される「学科指定TOEIC・IP」を受験すること。基準点【1 年次：300 点／2 年次：325 点／3 年次：350 点】に達していない場合は年度末の補講を受講すること。受講できない場合は学外にてTOEICのテスト（受験料は自己負担）を受験し、基準点に達したスコアを速やかに学事課に提出すること。

※任意でTOEICのテストを受験した場合、IP・正規テストを問わずスコアを学事課に提出すること

7. プログラム、資格認定制度

(1) エアラインプログラム

このプログラムは、ANA（全日本空輸）の元客室乗務員が直接指導する科目を中心に展開し、航空業界を目指す学生はもちろんのこと、幅広くビジネスで率先力たろうとする学生を対象にホスピタリティを教授するものである。プログラムの修了者には、英語英文学科より修了書を授与する。

このプログラムは、特定の職業に必要な知識・スキルだけを身につけた人材を育成するのが目的ではなく、文学・英語学・コミュニケーション学等の素養を持つ「教養ある社会人」の育成という英語英文学科本来の理念に基づくものである。また、ANA（全日本空輸）その他関連企業への就職を保証するものではない。

◇ プログラム科目履修について

本プログラムを履修する学生は、英語英文学科で必修とされる科目を全て履修した上で、本プログラムの科目を履修する。ただし、エアラインプログラムで修得した単位は、全て卒業に必要な単位に算入される。

◇ エアラインプログラム修了判定について

このプログラムを修了し、英語英文学科より修了書を授与されるためには、英語英文学科の所定の単位を修得し英語英文学科を卒業すること、エアラインプログラム科目の単位を原則として2／3以上修得すること、その他主要な科目を履修したうえで、英語英文学科会議で判定する。詳細は履修登録説明会等で説明する。

◇ エアラインプログラム選抜条件

このプログラムの一部の科目（演習等人数制限のある科目）の履修は選抜制となる。選抜は、英語英文学科必修科目の成績、エアラインプログラム科目の成績、英語検定（TOEIC その他）、及び面接の結果等を総合して行う。詳細は履修登録説明会等で説明する。

(2) 医療サポート英語プログラム

京都には多くの外国人が滞在し、海外から高度な医療を求めて来日する外国人の増加も見込まれている。このような中で、外国人が日本においても安心して医療を受けられ、また帰国後の療養へと繋げていけることは大変重要なことである。

このプログラムは、これまでの外国語教育に加えて、京都府立医科大学と共同して附属病院での実習も組入れた、外国人の医療支援に対応できる医療語学の専門性を有した人材育成を行う。本学科が取組んできたホスピタリティを基盤に語学力のある高度な医療サポートスタッフの養成を目指している。

所定の単位（計20単位）を修得した者には英語英文学科より修了書を授与する。

4. 履修単位表

() 数字は単位数

区分	卒業に要する単位 (124)						
	共通教育科目 (20～)			専門教育科目 (88～)			学際教育科目 (0～16)
	必修 (4)	選択必修 (15)	選択 (1～)	必修 (38) [41]	選択必修 (40) [38]	選択 (10～) [9～]	選択
1 年次	・キリスト教学 (2) ・キリスト教音楽概論 (2)	教養科目 「人間と文化」 「生活と社会」 「人間と自然」の3領域から各2単位以上 基礎科目 「リテラシー・スポーツ科目」の情報演習 I a または 情報演習 I b から1単位 「外国語科目」の選択科目から4単位以上		・ Practical English I (2) ・ Practical English II (2) ・ Academic English I (2) ・ Academic English II (2) ・ 英語英文学基礎演習 I (2) ・ 英語英文学基礎演習 II (2) ・ 英米文学概論 (2) ・ 言語学概論 (2) ・ コミュニケーション学概論 (2)	専門展開科目から選択必修科目計20単位以上 グローバルリベラルアーツコース履修者は、グローバルリベラルアーツコース科目から18単位以上	必修及び選択必修以外の専門教育科目から計10単位以上 グローバルリベラルアーツコース履修者は9単位以上	
2 年次		基盤科目 「カトリック教育科目」 「ライフキャリア形成科目」の選択科目から各2単位以上		・ Academic English III (2) ・ Academic English IV (2) ・ 海外留学 I a [1]			
3 年次				・ Academic English V (2) ・ Academic English VI (2) ・ 英語英文学演習 I (2) ・ 英語英文学演習 II (2)			
4 年次				・ 卒業研究 (8) ・ Global Liberal Arts Seminar [2]			

(注1) [] 内の数字はグローバルリベラルアーツコース履修者の履修単位数を示す。

(注2) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注3) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報課程

8. キャリア教育

9. 履修科目表

10. 他大学等科目の履修について

5. カリキュラム・マップ

学位 授与 方針 NDB	学年	キリスト教精神・女性教育		知識・理解		DP3		汎用的技能		DP4		態度・志向性		統合的な学習経験と総合的思考力				
		DP1		DP2		DP2		DP2		DP5		DP6						
		自分を育てる力		知識・理解力		言語力		思考・解決力		共生・協働する力		創造・発信力						
4年	後期													EGE4652	E Global Liberal Arts Seminar 卒業研究			
	集中等											EGR4600	ホテルビジネス研究	EGS4600				
	前期																	
3年	後期			EGJ3255	E Global Literature Workshop	EGB3352	E Communication Skills II	EGJ3450	映画論			EGR3550	ビジネスマナー演習	EGE3552	E Global Career Skills Development			
				EGE3255	Simultaneous Translation	EGB3354	Academic English VI	EGE3402	Persuasive Communication									
				EGP3250	英語科教育法Ⅳ			EGL3453	アメリカの社会と文化	EGS3550	英語英文学演習Ⅱ							
				EGR3252	英語教材作成演習			EGL3455	ことばと社会									
	集中等								EGL3458	ことばと意味								
									EGR3450	応用英語学								
											EGR3500	旅行観光実習						
											EGR3502	エアライン研修						
	前期										GCP3502	インターンシップⅠ						
											GCP3503	インターンシップⅡ						
				EGP3200	英語科教育法Ⅲ	EGB3302	E Communication Skills I	EGE3404	E Argumentation and Debate	GBL3500	話し方と自己表現	GCP3600	キャリア形成					
				EGR3202	外国語としての日本語	EGB3304	Academic English V	EGL3406	ことばの音と形態	EGS3500	英語英文学演習Ⅰ							
2年	後期																	
	前期																	
1年	後期																	
前期																		